

令和元年度第1回日出町生活交通確保維持協議会 会議録

1. 日時：令和元年6月26日（水）10時～

場所：日出町役場新館3階 331会議室

2. 出欠状況

【出席者】

会長 目代 憲夫 氏（日出町副町長）
副会長 土井 功 氏（日出町区長会長）
委員 清水準一郎 氏（国東観光バス株式会社専務取締役）
" 財前 誠 氏（国東観光バス株式会社杵築営業所）
" 中園千恵美 氏（日出町タクシー協会会長）
" 大賀 良久 氏（大分交通株式会社自動車部乗合課長）
" 二宮 伸弘 氏（杵築日出警察署交通課長）
" 姫嶋 啓始 氏（大分県別府土木事務所次長兼企画調査課長）
" 浜田 みほ 氏（大分県東部振興局地域振興部長）※代理～二宮主幹
" 高倉 伸介 氏（日出町社会福祉協議会事務局長）
" 伊豆田政克 氏（日出町福祉対策課長）
" 後藤 英樹 氏（日出町健康増進課長）
" 天野 重信 氏（アドバイザー：九州運輸局大分運輸支局首席運輸企画専門官）
事務局 木付、安田、一宮、佐藤（政策推進課）

【欠席者】

委員 漢 二美 氏（一般社団法人大分県タクシー協会会長）
" 脇 紀昭 氏（一般社団法人大分県バス協会専務理事）

3. 報告事項

(1) 平成30年度生活交通確保維持改善事業に係る乗車実績について

⇒承認（質疑無し）

(2) 平成30年度生活交通確保維持改善事業に係る事業評価について

⇒承認（質疑無し）

(3) 利用者等ニーズ調査結果について

⇒承認（質疑あり）

後藤委員：高齢者の方の中には、コミュニティバスの乗降や、シルバーカー（手押車）の積み降しが自力では困難な方がいる。今回のアンケート調査には掲載されていないが、当課（健康増進課）には運転手による乗降補助を希望する声が寄せられている。道路交通法による安全対策等の検証が必要になると思うが、今後更に高齢者の方の利用が増えていくと思うので、そういう方々の利用促進の手立てを検討して欲しい。

中園委員：安全面やタイヤの遅れ等を考えると、バス自体をノンステップバス等のバリアフリ

一仕様のものに改める方がよいのではないか。運転手による介助は難しいと思う。

財前委員：路線バスについては、大分交通は基本的にノンステップ仕様となっており事前予約は必要だが、乗降の介助は可能。国東観光バスに関しては、車両自体がバリアフリーに対応していないため、車椅子での利用はお断りしている。シルバーカーに関しては、利用者の約半分が自力で積降しを行い、残りの半分は乗車バス停にシルバーカーを置き去りにして乗車し、帰りに同じバス停で降車して、荷物をシルバーカーに入れて帰っているという状況です。

事務局：現状、契約書や仕様書に介助が必要な方への乗降支援は明記していないが、運転手さんによっては自主的に介助を行って頂いている場合もある。財政的な面から、ノンステップバスをすぐに導入という話は難しいので、今後どういう対応が取れるかよく検討したい。

4. 協議事項

(1) 平成30年度決算報告について

⇒承認（質疑無し。事務局より決算書の修正報告あり）

(2) 会計監査報告について

⇒承認（質疑無し）

(3) 日出町コミュニティバスに係るダイヤ改正について

⇒承認（質疑あり）

中園委員：今回の改正で、「オレンジ前」や「マルシヨク日出前」といったバス停が新設される。もともと、商業施設敷地内へのバス停設置をしていなかったのは、安全面に配慮をしたことだと思う。現状、トキハ前にバス停があるが、自家用車も非常に多くかなり危険。こういう場所に新たにバス停を置くということは、その分事故のリスクが高まるということを事務局は認識しておいて欲しい。

事務局：バス停の具体的な設置箇所の選定にあたっては、運転手の意見もよく聞き、安全面に十分配慮いたしたい。

(4) 国東観光200円バスに係るダイヤ改正について

⇒承認（質疑無し）

(5) 日出町生活交通確保維持改善計画認定申請書の提出について

⇒承認（質疑無し）

(6) 令和元年度予算書（案）について

⇒承認（質疑無し）

(7) 今後のスケジュールについて

⇒承認（質疑無し）

以上

令和元年度第1回日出町生活交通確保維持協議会の概要を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名、捺印する。

令和元年 7 月 2 日

令和元年度第1回日出町生活交通確保維持協議会

会議録署名委員

中園 徳美



会議録署名委員

後藤 英樹

